

諸橋轍次 もろはし 漢學者、文學博士。明治十六年六月四日新潟縣生れ、

昭和五十七年十一月八日歿（八三—一九二）。號仲蘇、尚由子、止軒。

明治四十三年東京高等師範學校漢文研究科卒。同校教授、東京文理科

大學教授等歴任。大正十年靜嘉堂文庫長。その後二十餘年を懸けて親

字數の『康熙字典』を委ぶ。『大漢和辭典』全十二卷（昭和二十年—二

十五年刊）を編纂。昭和二十五年都留文科大學初代學長、四十年文化

勳章受章。

著書 『儒學の目的と宋儒慶應至慶元の活動』（昭和四年十月—二十日大

修館書店）、『新論語講話』（昭和九年六月十一日章華社）、『游支

雜筆』（昭和十二年十月十五日自黑書店）、『儒教と我が國の徳教』

（興亞教學研究會編、昭和十五年四月二十日自黑書店「教學新書」）、

『支那の文化と現代』（昭和十七年十一月十五日皇國青年教育協會）、

『孔子と老子』（昭和二十七年七月一日不昧堂書店）、『老子の講

義』（昭和二十九年一月—二十五日大修館書店）、『漢字漢語叢義』（昭

和二十六年十月十日大修館書店）、『莊子物語』（昭和二十九年五月

五日大法輪閣）等。『諸橋轍次先生古稀祝賀記念誌』（昭和二十九年

二月）二十五日諸橋轍次先生古稀祝賀記念會）刊。